

目標達成計画

作成日：平成 26年 9月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践 玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組む	裏玄関の解放とリビングの窓の施錠をしない事で拘束をしないケアを実践する	スタッフで話し合い裏玄関にセンサーを設置と見守りを十分にすることで解放対応となる 裏玄関は7月9日から解放 リビング窓は8月5日から解放	完了
2	25	入居者様一人一人がどんな事が好きでなにができて何をして日々を過ごしたいのか把握できていない。家事活動に参加する機会が少ない。スタッフと一緒に出来る事を探して参加して頂く。	特に午後のレクリエーションの充実	色々な活動パターンを考えて実行し興味のあるものを探しより良い楽しみ活気のある日々を送っていただく。 (風船バレー、トランプ、ボウリング、卓球)	4
3	52	グループのホール等に飾り物、花を飾って落ち着いた家庭の雰囲気を出したいが飾った後から壊されたり取って行かれる。	季節々に応じた飾り物を作ったり季節の花を飾って少しでも楽しんでいただく。	飾り物、花などを手が届かない高い所に飾る。壁の上の方又はガラス戸の内側に付けて楽しんでいただく。	2
4	30	グループホーム内での生活が長く、運動不足で足の筋力が低下、又は下肢の浮腫が強い方が多くなっている。	筋力保持強化	午前中は現在行っているラジオ体操を継続し、午後からゲームや散歩、ドライブ等を組み込み、筋力強化と楽しみを工夫する。ルームマーチで訓練を定期化する。	4
5	4	地域の中でグループホームみやすが孤立しがちで、地域の方々との交流が進んでいない。	運営推進会議等を利用して、地域の方々と交流を進める。	地域包括支援センタースタッフが参加しやすい平日実施の運営推進会議を増やしたり、地域のお祭り、運動会、イベントに積極的に参加して頂く。	3

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。